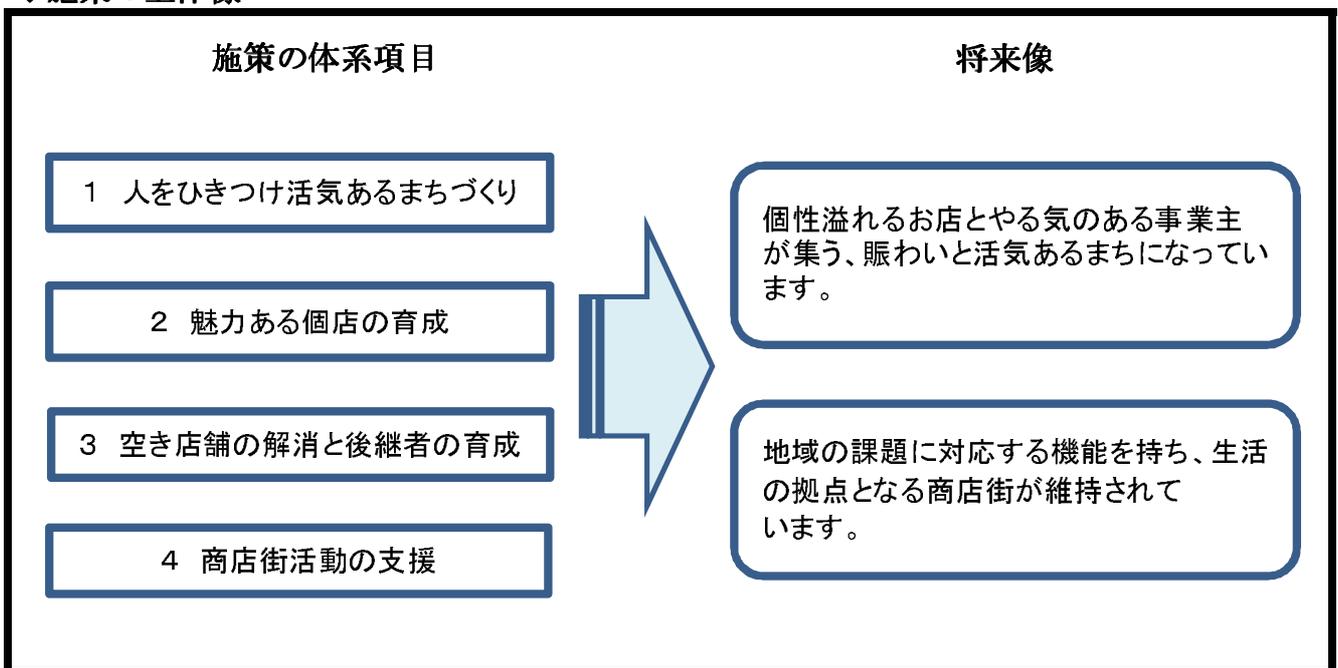


施策評価シート (平成29年度評価実施)	担当 部課名	産業環境部 観光商工課	関連 部課名	
---------------------------------------	-------------------------	----------------	-------------------------	--

◆第四次蒲郡市総合計画(2011～2020)

施策名	商業・サービス業
基本目標	賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】
施策の説明	蒲郡駅を中心とした市街地と商業基盤の整備を一体的に進めて中心市街地活性化を図るとともに、地域の特徴を活かした商店街づくり、個店に対する経営相談、各種融資制度の利用促進、後継者の育成、空き店舗を活用した新規の出店支援などの取組を推進します。

◆施策の全体像

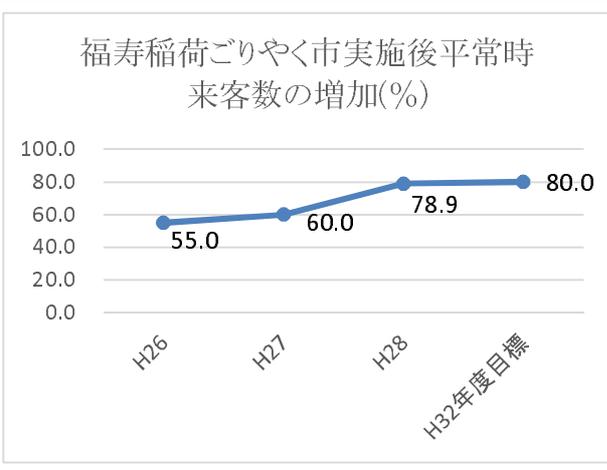
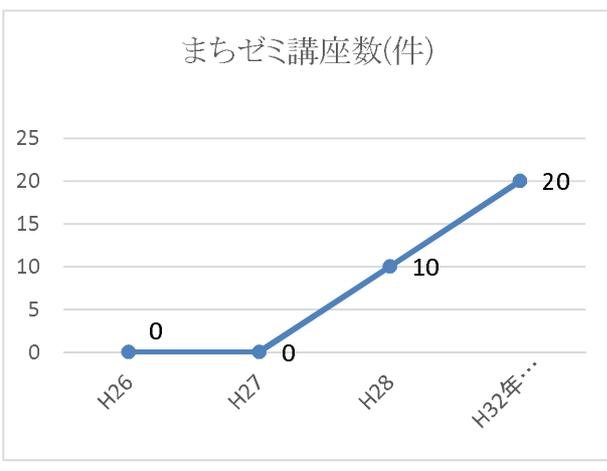


◆施策の体系項目に係る具体化した取組み実績(括弧内は単位)

施策の体系項目		人をひきつけ活気あるまちづくり		
1	福寿稲荷ごりやく市(千円)	商店街魅力向上事業(千円)	—	
	担当者評価			
<p>「福寿稲荷ごりやく市」は平成16年9月26日に第1回目を開催し、現在は、毎年6回の定期開催を続けている。事業内容は、来場者をリピーターとして呼び込めるような仕掛け作り、高校や大学とのコラボレーション等、アイデアを出し合いながら発展させており、愛知県からは『活性化モデル商店街』として認定されている。平成28年度からは新しく「まちゼミ」事業に取り組んでおり、ごりやく市との相乗効果により、個店の魅力向上と平常時の集客力向上を目指す。いずれも、愛知県の補助事業にもなっており、商店街の賑わい、活気溢れるまちづくりのため継続して実施したい。</p>				
施策の体系項目		魅力ある個店の育成		
2	おらがの店じまん事業認定件数(店)	小規模企業等振興資金信用保証料支払件数(件)	小規模事業者経営改善資金利子補給支払件数(件)	
	担当者評価			
<p>「おらがの店じまん事業」は平成21年度から始まり、第8回目まで継続してきた。毎回、市内店舗の自慢の一品を認定して、多くの方に各店舗の魅力を知らせてもらうきっかけ作り、リピーターに導く工夫をしている。この事業では、店舗が新しいアイデアの発想や商品開発を行い、競争力を高めながら販路を拡大開拓することも重要な目的としており、産業経済の活性化のための主要事業であると考えている。</p> <p>金融対策事業は市と県との協調融資政策が中心であるが、市独自の補助制度により事業者の運転資金や設備投資費用のための借り入れが円滑になるよう支援している。特に、創業者への支援を手厚くし、事業の立ち上がりを資金面で応援している。事業者の経営や経営改善への取り組みを支援し、創業者支援を強化することで市内事業者数の増加を図る。</p>				

施策の体系項目		空き店舗の解消と後継者の育成											
空き店舗対策事業家賃補助 (件)		—	—										
3	<table border="1"> <caption>空き店舗対策事業家賃補助(件)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29年度目標</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	H26	2	H27	0	H28	0	H29年度目標	0		
	年度	件数											
H26	2												
H27	0												
H28	0												
H29年度目標	0												
担当者評価													
<p>蒲郡商店街振興組合を対象地域として空き店舗対策事業を実施している。この事業では、空き店舗を賃借して事業を始めようとする方を対象として、賃借料や改装工事に要する経費の一部を上限30万円として助成している。全国的な「創業」「起業」への支援効果もあり、実際に空き店舗を活用した出店も実現し、問い合わせもあるが、ここ数年は開業実績がない。後継者の育成という視点では決定打となる解決策がない中で、不足業種等の誘致や商店街形成を維持するためにも有効な施策だと考える。商店自体が駐車場や家屋に様変わりするケースも多く、今後は、優良物件の確保と貸し手・借り手のマッチングに課題がある。</p>													

◆施策の現状分析(指標の推移から見た現状分析)

1	<p>指標の推移</p>  <p>福寿稲荷ごりやく市実施後平常時 来客数の増加(%)</p>	<p>指標の説明(設定理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福寿稲荷ごりやく市を通した新規顧客獲得及び平常時の商店街集客力の向上を示すもの。 ・商店街の魅力向上と活気が中心市街地活性化、後継者の育成や空き店舗の解消につながる。
	<p>指標の分析</p> <p>福寿稲荷ごりやく市は毎回5,000人程度の集客がある。当イベントが開催される中央通りに面した個店へのアンケート調査では、平常時の集客に効果があると回答する店舗が増えつつある。新規顧客の獲得と既存顧客の買物頻度の向上につながる事業として、今後も商店街が主体となって実施するイベントを支援し、賑わいと活気あるまちづくりを推進する。</p>	
2	<p>指標の推移</p>  <p>まちゼミ講座数(件)</p>	<p>指標の説明(設定理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から蒲郡商店街振興組合による「まちゼミ」(得する街のゼミナール)を開催した。講師となる店主のアイデアで、専門知識や特性を生かしたゼミナールを増やすことが参加者の増加につながる。 ・商店街及び個店の魅力を発信し、各商店とお客様との交流を通した商店街・中心市街地活性化を推進する。 ・参加者アンケートを実施。
	<p>指標の分析</p> <p>まちゼミは回数を重ねる度に参加店舗と講座数を増やすことで、参加者数も増えていくと考える。初回は11月のひと月間を開催期間とし、9店舗が10講座を開講し、45人の参加があった。今後も継続して開催し、定着化と事業の拡大を図り、福寿稲荷ごりやく市との相乗効果で商店街エリアの賑わい創出を図る。</p>	

◆市民等からの参考意見等

<p>市民サービス向上に向けた意見等</p>	
<p>第1回まちゼミ受講生アンケート結果(回答37人) 受講者 市内32人(86.5%)、市外5人(13.5%) / 男性10人(27.0%)、女性27人(73.0%) ・感想・・・大満足91.9%、満足8.1% ・普段の利用度・・・ほぼ毎日5.3%、週に1~2回42.1%、月に1~2回21.0%、ほとんどない31.6% ・今後の希望テーマ・・・料理、手芸、健康、旅行、音楽</p>	

◆今後の方針

No.	課題		今後の取組み
	件名	内容	
1	市街地の空洞化	商店街のイベント自体の知名度や集客力は高まっているが、本来の目的である個店の収益性向上に結びつきにくい。結果的に後継者不足、空き店舗問題が解決されず、個宅建築化等により商店街自体の維持が不安視される。	中心市街地の活性化のため、商店街を核にした人の流れ、賑わい創出を図る施策を継続する。 合わせて、「がまごおり創業支援ネットワーク」による創業支援、中小商工業等金融対策事業及び販路拡大のための補助金事業を継続的に実施し、頑張る個店を支援する。
2	空き店舗対策事業	蒲郡商店街振興組合で、空き店舗解消のための家賃補助事業を行っているが、平成26年度以降は利用実績がない。優良物件の確保と、貸し手と借り手のマッチングが課題である。背景には後継者不足の問題もあり、商店街振興の側面だけでなく、市産業振興施策として取り組む必要がある。	空き店舗対策としての家賃補助制度は継続して実施するが、商店街及び地域金融機関と連携し、貸し手と借り手の情報収集とマッチングに努める。 国が重点施策として取り組む創業支援との関連性も高く、がまごおり創業支援ネットワークによる支援を強化しつつ、事業承継についての施策や支援方法も検証したい。
3	商店街支援と個店支援	従来、商店街振興施策は、団体支援を基本とする支援事業を実施してきた。ここ数年の間に市内商店街の解散が相次ぎ、既存の商店街に加盟する個店も減少している。時代とともに頑張る個店(商店)への支援実施も求められており、その支援内容も含めて検討する時期にある。	商店街組織への支援は今後も必要であるが、商店街の維持形成のため、また中小企業支援としての商店支援も検討する必要がある。しかしながら、その支援内容や対象とする個店の範囲については、近隣市の状況や他の事例を研究しながら慎重に検証したい。 当面は中小企業支援として、がんばる個店の販路拡大に繋がる取り組みを支援する。
4			

◆施策評価

構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
課長評価	<p>空き店舗対策として家賃と改修費の補助を行なうチャレンジマート事業は蒲郡商店街振興組合に限定して実施中であるが、根本的な解決には至っていない。廃業後の店舗を住居や駐車場等へ転換する方も見受けられる。個店・商店街の存続のためにも、個店の収益性を高める取り組みが必要で、平成28年度からは新たに「まちゼミ」を開催した。今後も、まちゼミ発祥の地である岡崎市などを参考にして、研究と改善を図りながら定着事業にし、賑わいと活気あふれるまちづくりを推進する。</p> <p>課題のひとつである個店支援については、近隣市の状況も参考にしながら、効果的な支援策や手法を研究し、商店街の維持形成、後継者育成や事業承継等の課題解決に繋げたい。</p> <p>創業支援事業は、蒲郡商工会議所及び金融機関と連携を強化し、ワンストップサービスでの支援を充実させるとともに、蒲郡市のメリット性を持たせた施策を実施する必要がある。</p>

施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
部長評価	<p>ドラッグストアなど大型店舗の進出により、商店街の行く末は非常に厳しい状況にあり、空き店舗の増加に繋がっている。まちゼミなど新たな試みによって、やる気のある商店を支援すると共に、創業支援を行うことで空き店舗解消に繋げていくことが重要である。商店街の活性化が地域の賑わいを呼び、住んでよかった、住みたいまちになると考えられる。</p>

事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費(参考) (千円)	人工	評価 (担当者)	事業の 種別	新規 事業	達成 状況	市長マニ フェスト	実施 計画
2-4	観光商工課	255	中小商工業等金融対策事業	304,875	3,132	0.58	B	オ	オ	B	2	○
2-4	観光商工課	257	商店街活性化事業	4,744	1,751	0.29	B	オ	オ	B	2	○
2-4	観光商工課	261	中心市街地活性化関連事業	2,357	1,867	0.30	B	オ	オ	B	2	○